

化学工学会「CPD システム」利用の手引き

1. CPD ポイントとは

CPD (Continuing Professional Development) とは、日本語では「継続学習」「継続研鑽」などと訳されていて、技術者、研究者などが技術力向上を目指し、学習することを指します。

CPD ポイントとは、技術力向上のために学習、研鑽した内容をポイント化して登録するものです。

CPD ポイント制度は技術者資格の分野では共通化されつつあります。例えば、米国の PE (Professional Engineer)、あるいは APEC エンジニアでは年間 50 ポイント以上取得することが要求されています。

以上のことから化学工学会でも CPD ポイント制度を 2006 年度から導入しています。

2. 登録できる CPD ポイント

4. 項に示した化学工学会の CPD ポイント表を参照下さい。

講演会・講習会・シンポジウムなどに参加した場合、企業内研修に聴講のために参加した場合にポイントを登録できます。

論文投稿、論文発表、社内報告、執筆・口頭発表、大学での講師や技術指導、公的機関や学会などの委員会活動などを行った場合もポイントが付きます。

その他、表彰された場合、資格を取得した場合などにもポイントが付きます。

これらのポイントはそれぞれの項目について定められています。

3. 化学工学会 HP から CPD ポイント登録する手引き

(1)マイページからは、ログインし、CPD メニューのタブを選択。

または、「トップページ」⇒「資格制度」⇒「CPD 登録システム」の順で選択し、「CPD システム」にログイン ID とパスワードを入力。

または

(2)「CPD 自己学習登録」を選択。

(3)自己学習登録

登録する CPD 自己学習の、開催地、対象日、タイトル、教育分野、活動分類、時間数などの必要事項を記入。

開催地 東京

対象日 2017.01.30

証明書用タイトル 「レイアウトとプロットプランの考え方」講座 第16回

教育分野1

教育分野2

教育分野3

活動分類 120-講演会、シンポジウム等（年会などを含む）への参加-化学工学会、支部、部会主催

単位_数量 12 時間

備考 1/30-31 6H×2日間

確認画面へ

*教育分野 : 「指定なし」がデフォルト設定です。指定したい場合には分野を選択します。

*単位_数量 : 実際にその行事に参加した実時間を記入します。
例えば、年会に参加していても、観光に費やした時間は除外し、シンポジウムや講演を聴講した時間数を記入。CPD ポイントは自動的に計算され、上限が決められているものは、その上限がポイントになります。

*活動分類 : ドロップダウンから活動分類を選択します。(次頁の活動分類一覧表参照)

(4)登録内容確認

記入後「確認画面へ」ボタンをクリックすると、入力確認画面が表れます。

確認し、「登録」ボタンをクリックすると、登録は完了です。続けて、次の項目を登録して下さい。

開催地 東京

対象日 2017.01.30

証明書用タイトル 「レイアウトとプロットプランの考え方」講座 第16回

教育分野1

教育分野2

教育分野3

活動分類 110-講習会、研修会等への参加-化学工学会、支部、部会主催

単位_数量 12

CPD単位 12ポイント

備考 1/30-31 6H×2日間

戻る 登録

活動分類一覧

講習会、シンポジウム等の聴講	110 . 講習会、研修会等への参加ー化学工学会、支部、部会主催
	111 . 講習会、研修会等への参加ー他学協会、大学その他主催
	120 . 講演会、シンポジウム等（年会などを含む）への参加ー化学工学会、支部、部会主催
	121 . 講演会、シンポジウム等（年会などを含む）への参加ー他学協会、大学その他主催
	130 . 経営ゼミナールー化学工学会
企業内研修	110 . 講師・指導者ー設計、生産、技術、品質、安全、環境など
	120 . 受講者ー設計、生産、技術、品質、安全、環境など
業務経験	110 . 業務実績（プロジェクト）ープロジェクト・リーダー／研究リーダー
	120 . 業務実績ー一般業務
	130 . 特許ー出願
	131 . 特許ー成立
論文投稿・発表及び社内報告	110 . 技術論文（査読有）ー学協会誌、技術専門雑誌など
	120 . 技術論文（査読無）ー学協会誌、社内技報、技術専門雑誌、など
	130 . 一般論文ー化学工学会、学協会誌、業界誌、専門誌など
	140 . 執筆ー学術、技術図書
	150 . 口頭発表ー技術的内容
	151 . 口頭発表ー一般的内容
大学や公開の講習及び研修での技術指導	110 . 講師ー講習会（化学工学会、支部、部会等主催）
	111 . 講師ー講習会（他学協会、民間企業など主催）
	112 . 講師ー大学（非常勤）
	120 . 指導者ー団体等（研修者の指導など）
	121 . 指導者ー大学等
VI 公的活動	110 . 委員会役職者ー化学工学会、支部、部会
	111 . 委員会役職者ー公的機関、他学協会など
	120 . 委員会委員ー化学工学会、支部、部会
	121 . 委員会委員ー公的機関、他学協会など
	130 . JABEE 審査ー審査長
	131 . JABEE 審査ー審査員
表彰	110 . 学協会表彰ー化学工学会、公的機関
	111 . 学協会表彰ー他学協会等
	120 . 学、企業
資格	110 . 高圧ガス製造保安責任者（甲）、公害防止管理者、エネルギー管理士（熱、電気）、技術士
	120 . 高圧ガス製造保安責任者（乙）、危険物取扱者（乙）、特定化学物質等作業主任者、
	130 . ISO 内部監査員、化学工学技士、上席化学工学技士
その他	120 . 自己学習ー学会誌、専門書の購読、語学、知的所有権、技術者倫理など
	130 . 大学、研究機関（含企業）における研究開発・技術業務への参加、国際機関への協力
	110 . JST の Web ラーニングプラザによる学習（修了通知つき）

4. CPD ポイント表

化学工学会CPDポイント表

2007/5/22

CPD学習形態			CPDポイント (目安は50ポイント/年)		
CPD活動形態	内容		CPDファクター(f)	CPDポイント=f*CPD(h)	備考
1 講習会、シンポジウム等の聴講	講習会、研修会等への参加 講演会、シンポジウム等(年会などを含む)への参加 経営ゼミナール	化学工学会、支部、部会主催	1	1*h	
		他学協会、大学その他主催	0.6	0.6*h	
		化学工学会、支部、部会主催	1	1*h	MAX:15
		他学協会、大学その他主催	0.6	0.6*h	MAX:10
2 企業内研修	講師・指導者 受講者	設計、生産、技術、品質、安全、環境など	1	1*h	MAX:25
			0.5	0.5*h	MAX:25
3 業務経験	業務実績(プロジェクト) 業務実績 特許	プロジェクト・リーダー/研究リーダー	0.01	0.01*h	MAX:15
		一般業務	0.005	0.005*h	MAX:10
		出願 成立	10/件 10/件	10*件 10*件	MAX:20 MAX:30
4 論文投稿・発表及び社内報告	技術論文(査読有) 技術論文(査読無) 一般論文 執筆 口頭発表	学協会誌、技術専門雑誌など	30/件	30*件	
		学協会誌、社内技報、技術専門雑誌、など	10/件	10*件	
		化工誌、学協会誌、業界誌、専門誌など	10/件	10*件	
		学術、技術図書	原稿A4(約1600字)1枚につき3	3*A4枚数	MAX:24
		技術的内容 一般的内容	10 5	10*h 5*h	
5 大学や公開の講習および研修での技	講師 指導者	講習会(化学工学会、支部、部会等主催)	5	5*h	
		講習会(他学協会、民間企業など主催)	3	3*h	
		大学(非常勤)	0.5	0.5*h	MAX:15
6 公的活動	委員会役職者 委員会委員 JABEE審査	化学工学会、支部、部会 公的機関、他学協会など	1 1	1*h 1*h	MAX:20 MAX:15
		化学工学会、支部、部会 公的機関、他学協会など	1 1	1*h 1*h	MAX:10 MAX:10
		審査長 審査員	1 1	1*h 1*h	MAX:20 MAX:15
		学協会表彰	化学工学会、公的機関 他学協会等 学、企業 所属機関等	20/件 10/件 5/件	20*件 10*件 5*件
8 資格 当該年度1資格に付き右記のポイントを付与する	公的資格取得(A) 下表参照 公的資格取得(B) 下表参照 民間資格	高圧ガス製造保安責任者(甲)、公害防止管理者、エネルギー管理士(熱、電気)、技術士	10/件	10*件	
		高圧ガス製造保安責任者(乙)、危険物取扱者(乙)、特定化学物質等作業主任者、	5/件	5*件	
		ISO内部監査員、化学工学技士、上席化学工学技士	5/件	5*件	
9 その他	自己学習	JSTのWebラーニングプラザによる学習(修了通知つき)	0.5	0.5*h	MAX:5
		学会誌、専門書の購読、語学、知的所有権、技術者倫理など	0.5	0.5*h	MAX:10
		大学、研究機関(含企業)における研究開発・技術業務への参加、国際機関への	10/件	10*件	

備考欄のMAXは年間のポイントの上限値を示します。

公的資格分類表

公的資格取得(A)		公的資格(B)
技術士	作業環境測定士	ガス主任技術者
高圧ガス製造保安責任者(甲)	情報処理技術者	高圧ガス製造保安責任者(乙)
公害防止管理者	管工事施工管理技士(1, 2級)	危険物取扱者(乙)
危険物取扱者(甲)	ボイラー技士(特級)	衛生管理者(2種)
エネルギー管理士	ボイラー技士(1級)	衛生工学管理者
環境計量士(濃度)	衛生管理者(1種)	ボイラー技士(2級)
環境計量士(騒音)	労働衛生コンサルタント	

以上